

Unit1 Pop Culture Then and Now

本単元で育成する資質・能力

主体性・自らへの自信

1 日時 令和2年6月16日(火) 第5校時(14:15~15:05)

2 単元について

【人権教育の視点との関連】 技能的側面

単元を通して学んだことをもとに、日本文化の簡単な情報について紹介する文を書くことをゴールとする。その中で、自分の考えを書き表したり発表したりすること、また、その制作の過程でピアサポートをすることで適切にコミュニケーションを図る力を養う。

(1) 単元観

本単元は、中学校指導要領外国語編の(2)「読むこと」ウ「社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。」や(5)「書くこと」ア「関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。」ことをねらいとして設定された単元である。

本単元の題材は、江戸時代から現代までの長期にわたって日本と外国が交流してきたことについて具体的に書かれているものである。日本発祥の文化である江戸時代の浮世絵、また現代のマンガやアニメがそれぞれ世界に広まり、外国の人々に大きな影響を及ぼし、世界中で愛され受け入れられるようになっていった歴史やその様子について、情報を読み取り学ぶ内容である。外国人とつきあうとき、自国の文化をしっかりと理解しておくことはとても重要なことである。本単元は、日本文化の昔と今を知るのに適した教材である。

また、新出言語材料としては、受け身や使役動詞(make)を用いたS+V+O+Cの構文が導入されている。これらの表現を使用することで、行為者に着目するのではなく、対象物を主語にして、違う視点からそれを詳しく説明することができるようになる。取り上げた日本文化を違う視点から、簡単な語句や文を用いて紹介させることで、生徒が正しく書くこと、また、その表現活動の幅を広げていくことができる。

本単元の学習をふまえ、日本文化の良さに改めて気づかせ、次のPresentation 1で、最も関心のある日本文化についてとりあげ、誇りをもってより詳しく紹介する文を書き、発表する経験につなげていきたい。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、2年次から週末課題として与えられたテーマについてオリジナル作文を行ってきた。その課題への取り組み方として、指定された構文を使いつつ、自分の伝えたい情報を辞書を

使うことで工夫して表現する生徒もいる。しかし、自分の使える範囲内の文章で簡単にまとめて終えようとする生徒が多く、表現の幅が広がりにくい点が課題である。また、昨年度3学期の定期テストにおいて、条件を指定して記述する問題の通過率は、45.5%であった。一文単位で表現する問題ではできても、様々な既習事項を駆使してまとまりのある文を書く問題の中では、それぞれの一文が正しい語順や構文で使えていない場合がよく見られる。また、昨年度3学期の実力テストの通過率では、書くことが30.0%、読むことが36.0%と低く、それぞれに課題が大きい。

授業に対しては、全体的に落ち着いて意欲的に取り組んでいる。出された学習課題も、期限を守ってまじめに取り組むことができる。しかし、自分の考えを自信をもって発表することや、表現する内容を工夫することが苦手な生徒が多い。ペア学習を行う際には、相手を尊重しつつ愉しんで行え、クラス内でスピーチ等の発表をする際も、発表者を暖かく受け入れるよい雰囲気の中で行えている。しかし、班の中でピアサポートをし、友だちの作品に対して感想を述べあったり、アドバイスをしたりする際に、表面的な内容に留まり、相手の文に対してなかなか本音で意見を言えていない場合が多い。

(3) 指導観

次の2点に留意して指導していく。

① 教科の力をつけるための視点

まとまりのある文の中でも正しい一文を書く力を付けるために、この単元で学ぶ受け身形をしっかりと定着させたい。受け身形については国語の文法でも学んできているところであり、行為を受ける側を主語にした文体になることは容易に受け入れられる。しかし、この構文の過去分詞が初出であることやbe動詞と共に使われることなど、生徒にとってつまづきやすいところを、導入時の工夫や多くの例文に当たることで定着を図りたい。また、次のPresentationで既習の受け身形を使ってALTに一人一人が選んだ日本文化を紹介させ、定着を図ると共に、表現力を伸ばしていきたい。授業では次の点を工夫して行う。

- 【視覚化】 ・授業の流れを黒板の右端に示し、授業の流れを明確にする。
- ・導入時、受け身形では行為を受けることをパワーポイントを用いて画像で示す。
- ・構文を視覚的に強調して板書し、ワークシートと揃えて記入しやすくする。

- 【スパイラル化】 ・構文等が定着しやすいよう、授業の初めに帯学習として、復習をくり返し行う。

- 【焦点化】 ・ピアサポートの際、チェックするポイントを絞って、他の生徒の作品を読ませる。

- 【共有化】 ・ペアやグループ活動を活用し、協働作業で作文を仕上げたり、ピアサポートでお互いの作文を読みあったり、アドバイスをしたりする。

② 人権教育で身につけさせたい力をつけるための視点

交流の際には、まず、ワークシートに自分の意見を書かせて、各自が自信をもって交流に臨めるようにする。そして、交流にあたっては、お互いが気持ちよく意見が出せる雰囲気に必要なこと（傾聴の姿勢・表情・反応）を確認し、できている生徒を評価する。

3 単元の目標

○日本文化の海外への広まりについて関心を持ち、話題になっているものについて積極的に情報を読

み取ったり、伝えたりしようとしている。 【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○既習の表現を使って、日本文化の簡単な情報について紹介する文を書くことができる。

【外国語表現の能力】

○いろいろな日本文化について書かれた文章を読んで、内容を読み取り理解することができる。

【外国語理解の能力】

○受け身やその疑問文に関する形・意味・用法に関する知識を身につけている。

【言語や文化についての知識・理解】。

4 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
①日本文化の海外への広がりについて関心を持ち積極的に考えようとしている。 ②日本文化の海外への広がりについて関心を持ち、題になっているものについて積極的に情報を読み取ったり、伝えたりしようとしている。	既習の表現を使って、日本文化の簡単な情報について紹介する文を書くことができる。	いろいろな日本文化について書かれた文章を読んで、内容を読み取り理解することができる。	受け身やその疑問文に関する形・意味・用法に関する知識を身につけている。

5 単元を通して育成しようとする資質能力とのかかわり

資 質 能 力	目指す生徒像
主 体 性	○提示された日本文化の世界への広がりについて書かれた文章に興味を持ち、積極的に読み取り、理解しようとしている。また、その学習を生かして、班でお互いに協力し、より良いコミュニケーションを築くことができる。 【主体性☆☆☆】
自らへの自信	○課題に取り組む中で、日本文化の良さを改めて知ったり、協働作業の中で自分や友だちの良さや成長に気付いたりして、自国の文化や自分自身に誇りを持つことができる。 【自らへの自信☆☆☆】

6 指導と評価の計画（全9時間）

	学習内容	評価				人権教育の視点との 関連	
		関	表	理	知		評価規準 (評価方法)
課題 の設定	<p>○提示された日本の文化が世界にどんなに影響を与えてきたかを読み取り, 日本文化のすばらしさに改めて気づくことを通して, 単元のめあてを確認し, 学習の見通しをもつ。</p> <p>「自分の知らない日本文化について, もっとよく知って, ALTにもわかりやすく紹介できるようになりたい。」</p>	◎				<p>①日本文化の海外への広まりについて関心を持ち, 積極的に考えようとしている。 (振り返り表)</p>	
情報 の収集	<p>○Starting Out</p> <p>・受け身形を用いて説明された文から, ゴッホが浮世絵から影響を受けたことを知る。</p> <p>「受け身形はS+be 動詞+p. p ~で作れることがわかった。浮世絵がゴッホに影響を与えたことを知って驚きました。」 (2)</p>				◎	<p>○受け身に関する形・意味・用法に関する知識を身につけている。(ワークシート)</p>	<p>【技能的側面】</p> <p>・傾聴</p> <p>・適切な自己表現</p>
	<p>○Dialog</p> <p>・会話の中の受け身形の疑問文について理解する。</p> <p>「江戸時代の日本のものがヨーロッパではやっていたことはすごいと思った。」 (1)</p>			○	◎	<p>○昔の日本文化について書かれた文章を読んで, 内容を読み取り理解することができる。 (ワークシート・行動観察)</p> <p>○受け身やその疑問文に関する形・意味・用法に関する知識を身につけている。(ワークシート)</p>	

整理・分析	<p>○Read and Think 1・2</p> <p>・現代の日本文化が世界にどのような影響を与えているか、また、その感想を読み取る。</p> <p>「キティちゃんやドラえもんは、世界でとても愛されていることがわかり、日本文化を誇りに思えた。」</p> <p>(4)</p>			◎	<p>○現代日本文化について書かれた文章を読んで、内容を読み取り理解することができる。</p> <p>(ワークシート・行動観察)</p>	<p>【技能的側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相違を認める ・傾聴 ・適切な自己表現 ・合意形成
まとめ・創造・表現	<p>○Activity</p> <p>・受け身形を使って、自分の好きな絵やものを紹介する文を作る。</p> <p>「受け身形を正しく使って、自分の好きなものを紹介できた。日本の伝統的な文化も紹介できるようになりたい。」</p> <p>本時(1)</p>	○		◎	<p>②日本文化の海外への広まりについて関心を持ち、話題になっているものについて積極的に情報を伝えようとしている。</p> <p>(ワークシート・行動観察)</p> <p>○ ○受け身やその疑問文に関する形・意味・用法に関する知識を身につけている。(ワークシート) (後日小テスト)</p> <p>◎既習の表現を使って、日本文化の簡単な情報について紹介文を書くことができる。</p> <p>(ワークシート)</p>	<p>【技能的側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相違を認める ・傾聴 ・適切な自己表現 ・合意形成
振り返り	<p>○単元のまとめ</p> <p>「この単元で、日本の文化が世界でも愛されていることがわかった。ぜひ、ALTのダリル先生に日本文化の良さを伝えられるように頑張りたい。」</p> <p>(1)</p>	○			<p>②日本文化の海外への広まりについて関心を持ち、話題になっているものについて積極的に情報を読み取ったり、伝えたりしようとしている。</p> <p>(振り返り表)</p>	

7 本時の学習

(1) 本時の目標

受け身を使って、日本文化の紹介文を作り、ダリル先生に紹介できる。



【目指すゴール】

- ・ This is called “Mikaeri Bijin”.
- ・ It was painted by Hishikawa Moronobu.
- ・ It was painted in 1871.
- ・ I like it because its color is very clear and beautiful.

「紹介文を書くのは難しかったけど、受け身形を正しく使って文を書くことができた。次はもっと詳しく紹介する文が書けるようにしたい。」

(2) 準備物 ワークシート, 教材提示装置, モニター, フラッシュカード, ピクチャー
タイマー

(3) 本時の学習の流れ

	学習活動	・ 指導上の留意点	評価規準 ○教科 (評価方法) ●人権教育の視点との関連
	1 復習 ○受け身形の作り方, 受け身形の疑問文 を復習する (5分)	・受け身形の文の作りなどに気を付けて, ペアで復習をする。 【スパイラル化】 ・文構造を黒板に分かりやすく提示する。 【視覚化】	
	2 本時のめあてを確認する。		
	受け身を使って, 日本文化の紹介文を作り, ダリル先生に紹介できる。		
問 い を も つ	○学習の流れを確認する。 ○モデルを聞いて考える。 ○紹介文の書き方・作る時の注意点を確認する。 ○使える表現を確認する。 ○班のテーマを選ぶ。 (10分)	・ゴールを意識して学習できるように, 生徒と見通しを共有し, 黒板にも明示する。【視覚化】 ・「資質・能力のレベル表」も活用して, 目指すゴールを意識させる。 ・注意点や作成の手はずを提示する。【視覚化】 ・書くポイントを意識させる。 ・作文の際, 手立てとなるよう板書する。	●技能的側面 ・相違を認める ・傾聴 ・適切な自己表現 ・合意形成

自 力 解 決	3 班のテーマについて 4 文以上を目指 して個人で書く。 (10 分)	<ul style="list-style-type: none"> ・班のテーマについて何が言えるか, アイデアを書き出す。 ・受け身形を 1 文以上使って, 4 文以上書けるようにする。 ・班員の支援では難しいと思われるところは, 個別に支援する。 	
集 団 解 決	4 班で読み合い, より 良い作文を作る。 班員でピアサポ ートをし, チェックポ イントに従って, 班 員の作文を読み合 う。 ○アドバイスや他の 作品を読んで取り 入れたい表現を加 え, より良い文章に なるよう練り合う。 (13 分)	<ul style="list-style-type: none"> ・どこに気を付けて読めばいいかを明確に示す。 →check point, good point 【焦点化】 ・お互いに助け合えるように声掛けをする。 【共有化】 ・1 人分の作文の割り当て時間ごとに作品を交換して 読み合う。 ・お互いの表現のよいところに線を引かせ, 共有し合う ことで, お互いに高め合う意識を持たせる。 ・お互いの意見を尊重しあいながら, より良い分になる よう話し合って決める。 	<ul style="list-style-type: none"> ●技能的側面 ・相違を認める ・傾聴 ・適切な自己表 現 ・合意形成
自 力 解 決	5 発表練習 ○読み練習をする。 (2 分)	<ul style="list-style-type: none"> ・わからない読みや意味があるところは, お互いにた ずね合わせる。 	

まとめ	<p>6 発表する。</p> <p>○聞いていた人はひと言感想を英語で述べるができるよう、使えるフレーズ等を確認する。</p> <p>○班のメンバーを移動させ、そのグループ内で発表する。</p> <p>○代表者が全体でダリル先生に発表する。</p> <p style="text-align: right;">(5分)</p>	<p>・他班のメンバーに伝わる伝え方をさせるために、大切なポイントに気づかせる。 (声の大きさ、提示の仕方、発音、スピード等)</p> <p>・聞いている生徒は、発表者への傾聴をさせ、聞いての感想を口々に伝える。そのことがよいコミュニケーションを生むことを意識させる。</p> <p>(Oh, it's nice/beautiful. I like its color, too. I think it good, too because its color is amazing.)</p> <table border="1" data-bbox="555 593 1219 1227"> <tr> <td data-bbox="555 593 611 981">A</td> <td data-bbox="611 593 1219 981"> <p>This is called “Mikaeri Bijin” . It was painted by Hishikawa Moronobu. in 1671. It expresses the soft line of a woman. I like it because its color is very vivid. I think it is great because it was painted in Edo peiod.</p> <p>受け身形を 1 文以上含み 5 文以上で、既習事項を含んで豊かな表現をしている。</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="555 981 611 1227">B</td> <td data-bbox="611 981 1219 1227"> <p>This is called “Mikaeri Bijin” . It was painted by Hishikawa Moronobu. It was painted in 1671. I like it because it is very beautiful.</p> <p>受け身形を 1 文以上含み 4 文で書いて作品を紹介できている。</p> </td> </tr> </table>	A	<p>This is called “Mikaeri Bijin” . It was painted by Hishikawa Moronobu. in 1671. It expresses the soft line of a woman. I like it because its color is very vivid. I think it is great because it was painted in Edo peiod.</p> <p>受け身形を 1 文以上含み 5 文以上で、既習事項を含んで豊かな表現をしている。</p>	B	<p>This is called “Mikaeri Bijin” . It was painted by Hishikawa Moronobu. It was painted in 1671. I like it because it is very beautiful.</p> <p>受け身形を 1 文以上含み 4 文で書いて作品を紹介できている。</p>	<p>●技能的側面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な自己表現 ・傾聴 <p>○日本文化について、受身形を含んで 4 文以上で基本的な情報について正しく書くことができている。 (ワークシート)</p>
A	<p>This is called “Mikaeri Bijin” . It was painted by Hishikawa Moronobu. in 1671. It expresses the soft line of a woman. I like it because its color is very vivid. I think it is great because it was painted in Edo peiod.</p> <p>受け身形を 1 文以上含み 5 文以上で、既習事項を含んで豊かな表現をしている。</p>						
B	<p>This is called “Mikaeri Bijin” . It was painted by Hishikawa Moronobu. It was painted in 1671. I like it because it is very beautiful.</p> <p>受け身形を 1 文以上含み 4 文で書いて作品を紹介できている。</p>						

振り返り	<p>6 振りかえりを書く</p> <p>○今日の学習を振り返って、どのようなことができたか、どんなことを学んだか振り返る。</p> <p>・自分の選んだ作品を紹介することができた。友だちの表現がすばらしかったので、次はもっと習った表現を使えるようになりたい。</p> <p>・受け身を正しく使って絵を説明できた。発表するときは緊張したけど、ちゃんと伝わるように言えたのでよかった。(5分)</p>		
------	---	--	--